

環境調査結果のお知らせ

令和6年6月13日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

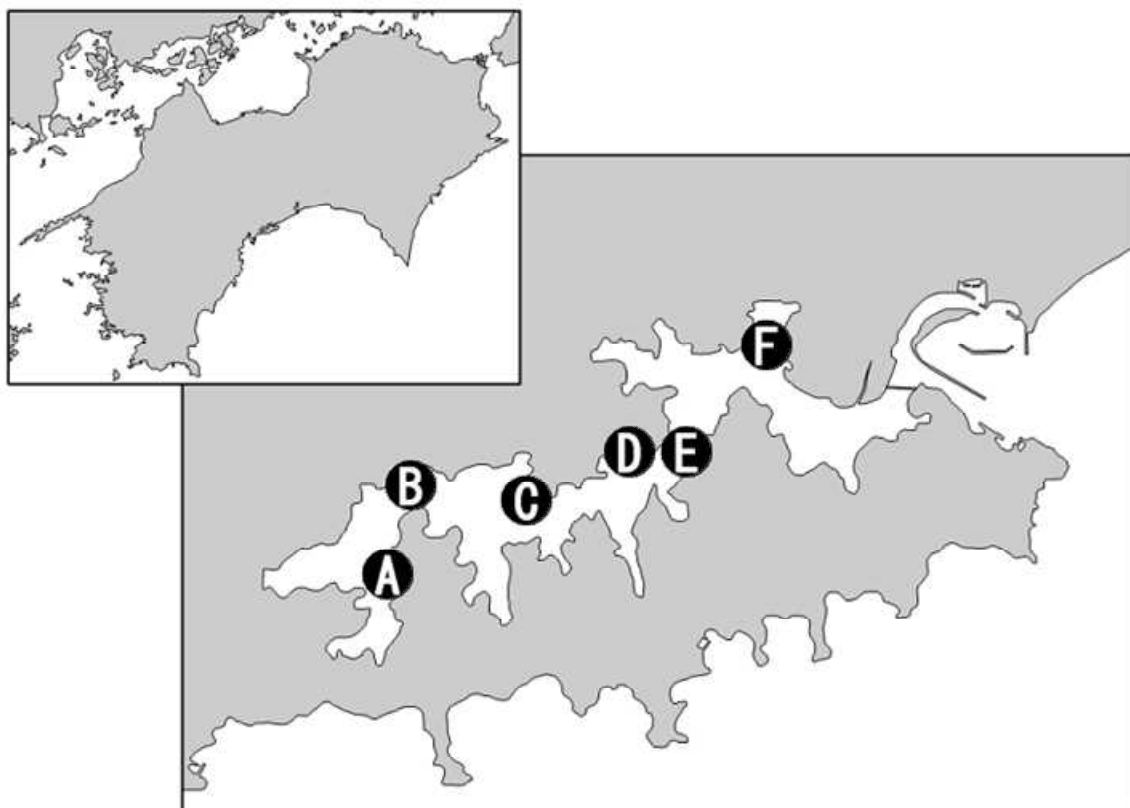
概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で2,400 cells/mL、ディクチオカ属が最高で310 cells/mL、ヘテロシグマ・アカシオが最高で13,300cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が想定される密度を超えているので、十分注意してください。

全定点（水試小割前を除く）の底層並びに中学校前及び目ノクソの10 m層が貧酸素状態となっています。

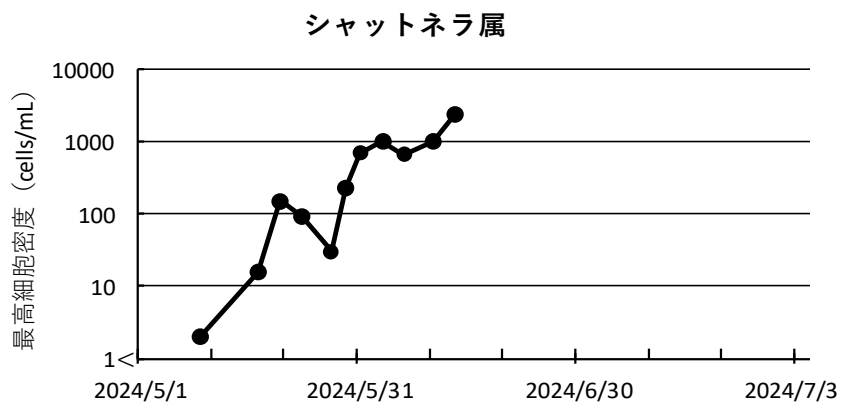
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	シャットネラ 属	ディクチオカ 属
	(m)	(°C)		(mg/L)			
A 鳴無 (2m) 【10:30】	0	26.4	20.0	10.4	-	0	0
	1.5	-	-	-	13,300	-	-
	2	25.3	28.5	14.6	-	680	0
	5	23.1	30.1	5.5	-	1,280	7
	底層 8.5	22.4	30.4	0.1	-	2,400	40
B 中学校前 (3m) 【10:44】	0	26.4	18.3	11.5	-	0	0
	2	25.1	28.2	14.3	-	5	1
	4	-	-	-	-	480	10
	5	23.3	30.2	8.0	-	350	26
	10	22.2	30.6	0.6	-	330	40
底層 12	22.0	30.7	0.1	-	546	15	
C 目ノクソ (3.2m) 【10:59】	0	26.9	20.0	10.4	-	4	0
	2	24.6	28.8	17.4	-	16	0
	4	-	-	-	-	550	52
	5	23.3	30.1	7.7	-	220	40
	10	22.6	30.8	2.7	-	262	22
底層 14.5	22.0	31.1	0.6	-	56	0	
D 光松 (2.5m) 【11:11】	0	26.8	22.7	11.3	-	0	0
	2	24.9	28.7	17.0	-	680	8
	5	23.4	30.2	7.7	-	400	310
	10	22.9	30.7	4.4	-	13	2
	底層 16.5	22.2	31.2	0.7	-	4	0
E 大鹿 (2.5m) 【11:21】	0	26.6	22.9	10.9	-	1	0
	2	24.3	24.2	17.0	-	110	18
	5	23.4	30.2	8.8	-	460	46
	10	23.0	30.8	4.3	-	7	4
	底層 16.5	22.2	31.2	0.6	-	5	0
F 水試小割前 (2.3m) 【11:31】	0	26.6	22.7	10.8	-	0	0
	2	24.2	29.3	10.6	-	13	39
	5	23.7	30.5	7.9	-	32	38
	底層 9	23.3	30.8	6.4	-	-	-



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。